

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	富永製作所 本社棟	階数	地上5F
建設地	京都府久世郡久御山町田井東荒見	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	0 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2021年8月29日
敷地面積	7,647 m ²	作成者	足立 明
建築面積	788 m ²	確認日	
延床面積	2,975 m ²	確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.3

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 外観は既存建物及び周辺建物との調和を考慮し、低層で安全な建物となるように計画した。		
Q1 室内環境 外皮に断熱材を施工し、建築物の負荷軽減に配慮した。	Q2 サービス性能 天井高を高くし、ゆとりのある居住空間となるように計画した。 リフレッシュスペースを充実させた。	Q3 室外環境 (敷地内) バルコニー、庇や屋上広場の設置。 敷地内建物を分棟配置とし、風の通りを良くした。
LR1 エネルギー 太陽光発電設備の導入	LR2 資源・マテリアル 仕上工事における乾式工法の採用	LR3 敷地外環境 敷地内の駐車スペース、駐輪スペースを充実させる計画とした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される